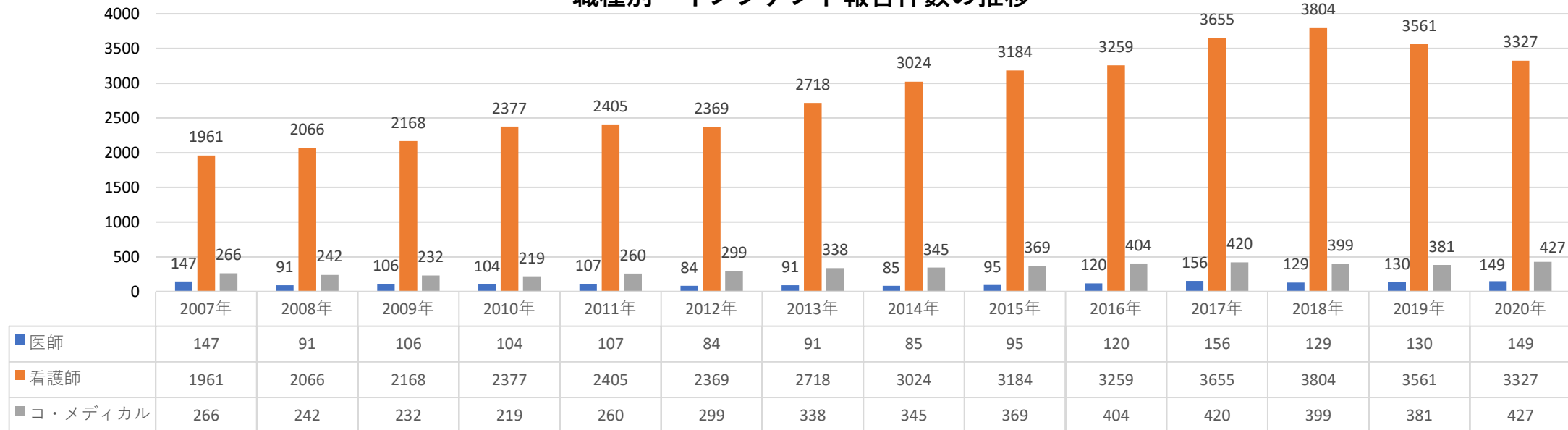


職種別 インシデント報告件数の推移



【指標の説明】

身体への侵襲を伴う医療行為は、常にインシデント・アクシデントが発生する危険を伴います。その発生をできる限り防ぐことは医療安全の基本です。

ハインリッヒの法則によると、1件の重大事故の背後には29件の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するといわれています。

軽微な事故、事故に至らない異常を発見し報告することで、重大事故の発生を予防することが可能です。

一般に医師からの報告が少ないことが知られており、この値が高いことは医師の医療安全意識が高い事を示します。

963床のベッド数を持つ当院であれば、年間3,500-4,000件程度のインシデント報告数が必要ですが、当院においては相当数の報告があり、職員の医療安全意識の高さが伺えます。